

5904-0511 『携帯型ロフト・ライ計測器Ⅲ (右利きアイアン用)』 使用説明書

製品の特徴

持ち運びの容易なコンパクト・サイズながら、ロフト、ライ、フェイス・プログレッション(F.P)を正確に計測可能です。

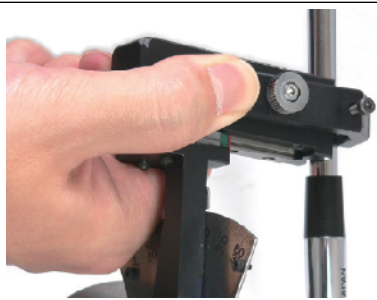
試打会、クラブハウス、練習場等、工房の外でアイアン・ヘッドのスペック・フローを確認したい場合にお役立て下さい。

注意事項 ※右利き用アイアン・ウェッジにのみ、対応しております。

※本品で計測可能なライは、スコアラインを基準としたもので、ソールを基準としたライは計測できません。

※ヘッドのF.Pが極端に小さいグースネックのヘッドや、ホーゼルやソケットが軸方向に長い場合等、計測できないものがあります。

※本書中の画像は開発中のもので、実際の商品とはディテールが異なる場合があります。



STEP 1. クランプ

ソケット上方でシャフトを挟んでクランプします。

STEP 2. スコアライン合わせ

アクリル・プレートに描かれたラインとスコアラインが平行になるように、プレートをフェイスに当て、フェイスからプレートが浮かないように、クランプの向きを調整します。精度に影響しますので、クランプ調整は、しっかりと行って下さい。

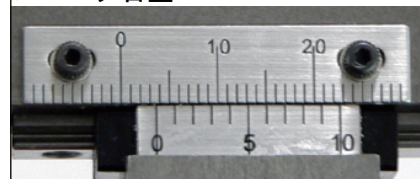


STEP 3. クランプ固定

クランプ位置が決まったら、クランプ制限スクリューを指で締め付けた後、クランプ固定ダイヤルを締め付けて、クランプが動かないように固定して下さい。クランプ制限スクリューは、クランプ固定ダイヤルの締め付け過ぎによる、シャフトの破損を防ぎます。

計測後は、ダイヤル、スクリュー共に緩めてから、クランプを取り外して下さい。

バーニア目盛 - F.P



STEP 4. 各種計測

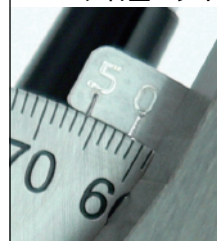
ロフト、ライは、アクリル・プレートをフェイスに当てた状態で読み取ります。

F.Pを計測する際は、写真のようにロフト計が0度を示す位置に立て、ブレードの最突出部に当てて計測して下さい。この時、アクリル・プレートのラインは、スコアラインと平行である必要はありません。

なお、ライ、F.Pのみ、バーニア目盛を備えており、小数点第一位の数値が読み取り易くなっています。

※バーニア目盛: ライは、「.5」表記のある目盛と、直近の目盛が一致する時、小数点第一位はx.5になります。F.Pは、「.1」から「.9」までに対応したバーニア目盛を備えており、0が一致しない場合は、それ以外の一致する下側目盛が小数点第一位の数値になります。右写真では、それぞれ、F.Pは3.6mm、ライは61.5度と読めます。

バーニア目盛 - ライ



フェイス・プログレッション(F.P)

